

こうみょう

第16号

この如来にょらいは光明こうみょうなり。光明こうみょうは智慧ちえなり。

智慧ちえはひかりのかたちなり。

親鸞聖人しんらんしょうにんちよさく著作『一念多念文意』
いちねんたねんもんい

新しい年を迎えました。

今年も昨年と同様に、よろしくお願いいたします。

下の写真ですが、大阪にあります磯長御廟しながごびやう、お参りに行ってきました。親鸞聖人は聖徳太子をととても大切な方として仰ぎ、この磯長御廟にお参りに伺った際に夢告を受けたと伝えられています。親鸞聖人はどのような悩みを抱えて、京都からこの地へやってこられたのか、そんなことを思いながら僕もお参りさせていただきました。

さて、今年も光明寺では、地域の皆さんにお寺を知っていただき、コミュニティの場として利用していただきたいと思い、様々な取り組みを行ってまいります。この通信が届く皆さまには、特に「写教の会」と、「同朋の会」にご参加いただきたいと思っております。

仏事でお勤めしている「正信偈」に親しむことを願いとしており、またそのことを通して、皆さんから日々の生活のお話などお聞かせいただいております。ぜひ一度ご参加ください。

第16号

2020年1月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

メールアドレス：

koumyouji@sky.plala.or.jp



聖徳太子しやうとくこうたいし磯長御廟しながごびやう（大阪・聖徳太子のお墓）
親鸞聖人は19歳の時に参詣され、聖徳太子より夢告を受けたと伝えられています。

第4回「終活セミナー」を開催しました

2019年11月26日火曜日、第4回「終活セミナー」を開催いたしました。

参加者は20名、ご門徒さんや地域の方にご参加いただきましたが、タウン誌『深川』やフェイスブックを見て参加された方もいらっしゃって、新たなご縁をいただきました。

セミナーは2部構成で、初めに私（住職）より、「仏教の終活」というお話をさせていただきますました。お釈迦様の出家が、老病死の苦からの解放を求めたことによることから、「終活」を仏の教えによって考えていくことの大切さをお話しさせていただきました。

続いて、「安心して生きるための、遺品・生前整理について」というテーマで、(株)ワンズライフ代表取締役社長の上野貴子さんよりお話しいただきました。

遺品整理や生前整理は、不用品を捨てることではなく、大切な人を失った喪失感や悲しみの気持ちを整理することであり、整理しようとする物は、その人の人生の想い、大切な歴史です、というお話が心に残りました。



アンケートにお答えいただきましたので、ご意見ご感想をご紹介いたします。

◆セミナーの良かったところ

- ・ご住職による仏教のお話、そして、講師の方を招いてのセミナーは、とてもよい構成だと思えます。(50代女性)
- ・仏教や仏陀のお話がとても良かったです。(50代女性)
- ・人間は皆、本当は孤独に死にたくはないんだらうなと思いました。(60代女性)
- ・資料の写真や実体験を聞かせて頂き、想像しやすくて良かったです。(40代男性)

◆ご自身にとって、新たな気づきや発見したこと、良かった点を教えてください

・健康で元気な内に、色々と考えておかなければいけないと思いました。上野さんの「6つのポイント」のお話が目安となり、分かりやすかったです。(50代女性)

・遺品整理のお話の中で「子どもにも迷惑をかけたくない」とありました。最近は仏壇もお墓も用意したくないという方が多い。核家族化が要因…と考えさせられますが、親子間の話し合いが少ないことにも要因がある氣もします。(50代女性)

◆参加しての全般的な感想やご意見などを自由にお書きください

- ・今回は終活セミナーに、生まれて初めて参加させていただきました。色々な気づきもあり、未来に繋がる思いがあり、嬉しかったです。(60代女性)
- ・お寺、ご住職・・・近づきたいイメージがありました。気がさくなお人柄がお話を聞くにつれ深まりました。場の空気も温かかったです。(60代女性)
- ・家族との話し合いを、楽しく自分の意向を伝えたいと思いました。(50代女性)
- ・あたたかい雰囲気とても良かったです。

仏事について……ごことが知りたい!

お寺でお葬式

最近、増えてきたように思います。入院されている場合や、介護施設から病院へ転院されたときなどに、事前にご相談にお見えになることがあります。その多くの場合、お寺でのお葬式をお選びいただく方が多くなってきました。と言いますか、むしろ僕の方から勧めているのですが……。

どうして勧めるのかと言いますと、まずはメリットですが、

- ① 経済的な負担が小さい（祭壇が必要ない）
- ② 亡き方との距離感が近い
- ③ 遺された者が仏の教えに出会う

① については、本堂にはご本尊がありますので祭壇は必要ありません。祭壇の必要がないというだけでも、経済的な負担は圧倒的に小さくなります。

② については、祭壇がない分お棺も低く、また、本堂ですので、亡き方を近くに感じる事ができると、皆さんおっしゃいます。

③ については、ここが大切なところですが、そもそも葬儀は、亡き方をご縁に、遺された

者が大切なことに出会う場です。大切なこととは、「死」です。亡き方は、身をもって、最後に私たちに、「死」という厳しい現実を教えてくださいます。でも私たちは、「死」は怖く悲しく、とても受け止めることができません、そのために、仏の教えをよりどころにして、一人ひとりが亡き方からの大切なメッセージを受け取る場にしたのです。



デメリットについても、お知らせします。

- ① 本堂内でお参りできるお身内は20人ほど
- ② 多くの一般会葬者を受け入れられない
- ③ 駐車場がない

何せ小さな寺ですので、デメリットはほとんどがスペースの問題です。でも、ご遠慮なくご相談ください。

真宗本廟御正忌報恩講

11月27日、28日と、本山の報恩講に参詣してまいりました。本山では毎年11月21日からの8日間にわたり、報恩講が勤められます。今年は、全国から3万5千人のご門徒方が参詣にお見えになったとのことです。

午後のお速夜、朝の晨朝、午前のお日中と、毎日3座、21座の法要が勤まります。

最後の3座は「結願」と言い、特に最後の最後「お日中」の法要は御満座と言われ、大谷派特有の「坂東曲」が勤まります。

「坂東曲」は、上体を大きく揺らしながら、独特な節回しで念仏・和讃を勤めます。親鸞聖人が流罪に遭われた際に、船上で称えた念仏が由来だという説があります。御満座には、約6千人が膝を詰めて参詣されました。



写真は、本山のホームページより転載

二〇二〇年 年忌法要（亡くなった年）

四十九日法要…亡くなった日から四十九日

一周忌法要…二〇一九年（平成三十一年・令和元年）

三回忌法要…二〇一八年（平成三十年）

七回忌法要…二〇一四年（平成二十六年）

十三回忌法要…二〇〇八年（平成二十年）

十七回忌法要…二〇〇四年（平成十六年）

（二十三回忌法要）…一九九八年（平成十年）

二十五回忌法要…一九九六年（平成八年）

（二十七回忌法要）…一九九四年（平成六年）

三十三回忌法要…一九八八年（昭和六十二年）

五十回忌法要…一九七一年（昭和四十六年）

※地域により、二十三回忌・二十五回忌・

二十七回忌は、お勤めする習慣が異なる

りますので、お寺にご相談ください。

写教の会

教えの言葉を書き写す「写教」の会です。

開催日…1月15日・2月19日・3月11日

水曜日の14時～17時まで開けて
いますので、出入り自由です。

参加費…無料

「正信偈」を書写しますので、筆ペン又は書
道道具をご持参ください。

光明寺同朋の会（法話の会）

親鸞聖人が書かれた「正信偈」には、どの
ような教えが記されているのでしょうか。
少しずつですが、学んでまいります。

開催日…1月25日・2月22日・3月28日

土曜日の14時～16時半まで

参加費…500円

初回の方はテキスト代600円

※皆さまのご参加をお待ちしております。

体幹らくらくヨガ

お寺で、リラックスした気持ちでヨガを体
験してみませんか。無理なく体を動かしながら、
自然と体の内側を鍛えることが出来ます。
日常から離れて、自分の体と向き合い、心
地よい時間を過ごしましょう。

開催日…毎月第2火曜日の10時半～11時半

毎月第4火曜日の19時～20時

※月に2回開催しています。

※2月11日はお休みします。

参加費…1,000円

花まつり法要

日本では、お釈迦さまは4月8日にお生ま
れになったと伝わっています。

お釈迦さまのご誕生と親鸞聖人のご誕生、
そして、新たな仏弟子の誕生をご縁に、法要
をお勤めいたします。ぜひお参りください。

日時…4月5日（日）13時より法要

法要の後に30分ほどの法話あり

参加費…無料